

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 684 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

5

2013

平成25年
5月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
平成25年度第1回理事会	4・5
平成25年第1回経営者研修会 第19回北海道青年印刷人フォーラムのご案内	6
2013北海道情報・印刷産業展出展募集	7
2013年「9月印刷の月」 PRポスターデザイン公募のご案内	8
「平成24年経済センサス活動調査」速報	9
第26回北海道印刷関連業協議会 ゴルフ大会のご案内	9
業界のうごき	10
新組合員紹介	10

[表紙] 羊と札幌ドーム（札幌市豊平区羊ヶ丘公園：5月）

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目 TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072

印刷 燦 燦

函館山

函館山は夜景で有名ですが、牛が寝そべっているように見えることから、別名「臥牛山（がぎゅうざん）」と呼ばれ、標高334メートルのコブ山が連なる複雑な地形が多様な自然環境を形成しております。

それは、明治32年から昭和の終戦まで軍事機密地域として扱われ、一般人の入山はもちろん写真撮影なども厳しく制限されたことが、幸いにも函館山の自然が保たれる事になったのです。

函館山は四季折々、市民のハイキングコースとして親しまれております。

春は立待岬から七曲りコースにゴジマエンレイソウが咲きます。

初夏にはヤマツツジが山を朱色に染め、秋にはススキと函館山の七草が順次開花し、冬には昭和29年の洞爺丸台風まで函館山の裏側に富山県から来た人々が住んでいた、寒川集落跡の海岸に、少し急な道ですが、寒のりやふのりを摘みに行くのも楽しみの一つです。

イギリス人の動物学者ブラキストンが、津軽海峡を挟んで、北海道と本州では動植物の分布が異なることを発見し、津軽海峡が「ブラキストン・ライン」と呼ばれるようになりました。

この様に自然豊かにめぐまれた函館山から対岸の下北半島が間近に見えます。

その下北の大間に、函館市民はこぞって反対している大間原発が建設されようとしております。

私たちが住む北海道も含め、自然と共栄する産業の発展が大切だと思います。

北海道印刷工業組合理事・函館支部長 浜中 正治

ハコー印刷株式会社 代表取締役社長

平成25年度通常総会提出議案を審議

平成25年度第1回理事会開催

平成25年度第1回理事会が、4月26日午後1時30分から札幌市中央区のエイト会館で全道から理事16人と監事2人が出席して開催され、平成24年度決算、平成25年度事業計画（案）、同収支予算（案）、定款および規約の一部改正（案）、課金制度の改定（案）などを審議し、実行委員会で実施した2012全日本印刷文化典北海道大会の決算を承認し、平成25年度通常総会の開催日時、会場、提出議案を決定した。

理 事会は、岡部理事長のあいさつにつづき、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

(1)平成24年度事業報告については、概況、組織の状況、諸会議の開催状況、実施事業について説明され、承認された。

(2)平成24年度決算（案）については、平成25年3月期の財産目録、貸借対照表、損益計算書、予決算対比表、剰余金処分案について説明された後、植平監事から内容は適切である旨の監査報告が行われ、平成24年度決算（案）が承認された。

平成24年度決算は、収入総額25,521,166円、純利益金額4,268,341円で、平成24年度末の正味財産は12,344,881円となった。

剰余金処分案は、前期繰越剰余金3,411,540円に当期利益金額4,268,341円を加えた7,679,881円から、定款規定による利益準備金450,000円と特別積立金450,000円を処分額として、6,779,881円を次期繰越剰余金とすることとした。

また、本部・支部の合算の貸借対照表、損益計算書についても承認された。

(3)平成25年度事業計画（案）については、基本方針とそれに伴う「組織の拡大」、「広報活動の強化」、「明日に向かって“魅力ある業界づくり運動”の展開」、「“印刷の月”行事の取り組み」、「共済事業への加入促進」、「福利厚生事業の実施」、「組織・財政状況の検討」、「第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の開催準備」に取り組むことが承認された。

(4)平成25年度収支予算（案）については、平成24年度決算額を4,575,166円減額した20,946,000円を計上することが承認された。

(5)平成25年度組合員の賦課金額及び徴収方法の決定（案）については、売上額自主申告の20ランク制と

して、当月分賦課金を当月末までに所属支部の指定口座に払い込むことが承認された。

(6)第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の負担金額及び徴収方法の決定（案）については、1社12,000円として、所属支部の指定する期日まで所属支部の指定口座に払い込むことが承認された。

(7)理事の報酬（案）については、専務理事報酬限度額を原案どおり承認した。

(8)平成25年度借入金の最高限度額（案）については、運転資金として1,000万円とすることが承認された。

(9)2012全日本印刷文化典北海道大会の決算（案）については、文化典を実行委員会で運営し、収支決算が説明された後、植平監事から内容は適切である旨の監査報告が行われ、決算を確定した。

決算額は25,776,455円で、北印工組会計に4,913,460円を繰入した。

(10)定款の一部改正（案）については、組合員が減少していることから理事定数を現在の「20人以上25人

以内」を「13人以上17人以内」に減員することが承認された。

- (11)規約の一部改正(案)では、委員会規約、支部規約を一部改正し、総代選挙規約を廃止することが承認された。

委員会規約は、全組合員に委員を委嘱することとし、青年部事業委員会には組合員のほか組合員の後継者およびそれに準じるものを含めることとした。

支部規約は、支部空白地域の印刷会社を、同地区で5人以上となるまで本部直轄組合員として加入を認め、5人を超えた時点で支部形成に努めるようにして、組合加入をしやすくした。

- (12)賦課金制度の改定(案)については、組合財政が逼迫していることと、現在の賦課金制度が制定から30年になり現状に合わなくなっていることから、健全な財政確立のため賦課金制度の改定を行うことを承認した。

現在の売上額一本の賦課制度を、組合員の議決権は企業規模に拘わらず等しく1票という組合法の原点を踏まえ、基本賦課金を創設して基本賦課金と売上賦課金の二本建とし、売上賦課金は売上区分を組合員の実勢に合わせ再編することとし、新賦課金制度は平成26年度から施行することとした。

- (13)組合員との取引は、内規に基づき「北海道の印刷」を(株)正文舎に発注することが決定された。
- (14)新規加入組合員として、株式会社中央広版社(札幌支部)の加入を承認した。
- (15)平成25年度通常総会の開催及び提出議案については、5月17日(金)午後2時からガーデンシティ札幌きょうさいサロン(札幌市中央区北4条西1丁目共済ビル)で開催し、午後4時30分から懇親会(会



費3,000円)で開催することを決定した。

提出議案は、①平成24年度事業報告について、②平成24年度決算(案)について、監査報告、③平成25年度事業計画(案)について、④平成25年度収支予算(案)について、⑤平成25年度組合員の賦課金額及び徴収方法の決定(案)について、⑥第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の負担金額及び徴収方法の決定(案)について、⑦理事の報酬(案)について、⑧平成25年度借入金の最高限度額(案)について、⑨定款の一部改正(案)について、⑩規約の一部改正(案)について、⑪賦課金制度の改定(案)についてを提出することを決定した。

- (16)平成25年度全道委員長会議を、6月21日(金)午後1時からガーデンシティ札幌きょうさいサロンで上期北海道地区印刷協議会と併催で開催することとした。

また、当日は、経営者研修会を第19回北海道青年印刷人フォーラムと合同で、大阪府の(株)ダイム社長の安平健一氏を講師に招き、「感性の時代の企業ブランドとCSR～何故、利益が出ないのか? 価格競争になるのか?」をテーマに開催する。

平成25年第1回経営者研修会 第19回北海道青年印刷人フォーラム のご案内

北海道印刷工業組合は、平成25年第1回経営者研修会と第19回北海道青年印刷人フォーラムを下記により合同開催します。

企業も社会の中で生かされている存在である以上、直接、間接を問わず企業を取り巻く関係者との対話や配慮が重視されてきています。「うちさえ良ければ」という経営姿勢では、社員や社会から見放され、やがて倒産してしまいます。近年はそういうことからCSR(企業の社会的責任)が重要となっています。

また、企業のブランドは、人・金・物・情報とならば第5の経営資源と言われています。

そこで、CSRと企業のブランディングを企業経営に結び付けていただくため、「感性の時代の企業ブランドとCSR～何故、利益が出ないのか? 価格競争になるのか?」をテーマに、全国青年印刷人協議会副議長・大阪府印刷工業組合副理事長の安平健一氏を講師に迎え、平成25年第1回経営者研修会と第19回北海道青年印刷人フォーラムを合同開催します。

記

- ① 日 時 平成25年6月21日(金) 午後1時～3時25分
- ② 会 場 ガーデンシティ札幌きょうさいサロン(札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル 電話011-252-3165)
- ③ テーマ 「感性時代の企業ブランドとCSR～何故、利益が出ないのか? 価格競争になるのか?」
- ④ 講 師 全国青年印刷人協議会副議長・大阪府印刷工業組合副理事長
安平健一 氏(株式会社ダイム代表取締役社長・大阪)
- ⑤ 受講料 無 料
- ⑥ 定 員 100人(申込先着順で定員になり次第締め切ります)

2013北海道情報・印刷産業展出展募集

印刷企業のコラボレーションビジネス発信のチャンス

北海道情報・印刷産業展実行委員会は、道内印刷関連業の発展のため21回目となる「2013北海道情報・印刷産業展」を9月5日(木)、6日(金)、7日(土)の3日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催します。

印 刷産業界を取り巻く環境は、デフレ経済の渦中での需要の減退、価格競争の激化による収益の著しい低下の中、デジタル技術の急進展による技術融合、業際化、顧客企業におけるペーパーメディア生産の活発化など様変わりしてきており、これまで経験したことのない大きな変革への対応が迫られています。

さらに、デジタル技術の目覚ましい発展により情報伝達手段が多岐になり、一層精度の高いプロの技術を探求し続け、情報産業と製造業を兼備し、ソリューション・プロバイダーへ進化して行かなければ将来展望が描けなくなっています。

そのためには、最新の技術動向・情報の収集と実践が不可欠となり、「北海道情報・印刷産業展」の重要性が年々高まってきました。

本産業展では、印刷資機材、情報機器等の実演・展示に加え、会期中セミナーを開催し、トレンドな情報発信を行い、産業展の価値を一層高め、より多くの皆

様に来場いただけるよう努めています。

本産業展は、道内印刷関連業の将来を展望し、企業経営の価値を見出し、デジタル化推進に必要な印刷関連資機材・情報機器等の選択、情報の交換、ソリューションビジネスを模索する絶好の機会であり、ICT時代の道内印刷関連業の原動力となり、ひいては印刷産業界全体の発展に繋がるものと確信しています。

印刷資機材・情報機器製造ならびに販売各社におかれましては、ICT時代を切り開く大きな戦力や武器となる最新の機器・機材・資材等を積極的にご出展いただき、何卒、北海道の印刷関連企業ならびに業界の振興と発展に特段のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、組合員の皆様には、自社のコラボレーションビジネス情報発信の場として、ご活用いただきたく存じます。

奮ってご出展いただき情報発信をお願いします。

[2013北海道情報・印刷産業展]

- ① 会 期 平成25年9月5日(木)・6日(金)・7日(土)
午前9時～午後5時(最終日午後4時終了)
- ② 会 場 アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3-55
- ③ 後 援 経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市
- ④ 小間料金 1小間(間口3.0m×奥行2.5m×高さ2.4m)90,000円(消費税込)
(基本装飾、基本電気設営、電気使用料含)
- ⑤ 申込締切 平成25年7月5日

※詳細な出展案内・申込書は、
北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) に
5月下旬から掲載します。

2013年「9月印刷の月」 PRポスターデザイン公募のご案内

(一社) 日本印刷産業連合会

一般社団法人日本印刷産業連合会は、印刷業界のイメージアップと印刷産業の認識・理解の促進を図るため、2013年「9月印刷の月」PRポスターデザインを公募する。
公募の概要は次のとおり。

【公募内容】

1 応募対象者

- ①一般部門 日印産連会員団体・企業のクリエイター、デザイナー等
- ②学生部門 グラフィック・デザイン専門学校生徒、美術学校生等

2 募集期間

締切日 平成25年6月28日(金)

3 ポスターのサイズ・色数・用紙・インキ

- ①規格 B2サイズ(縦)
- ②使用色数 標準4色
- ③用紙 コート紙、マットコート紙

4 ポスターの必須文字

- ①タイトル 「9月印刷の月」
ex.「9月は印刷の月」等のバリエーションは可
期間2013年9月1日～9月30日
- ②キャッチコピー Printomorrow
～明日のいいこと、印刷から～
- ③行事案内 「2013年印刷の月」講演会、記念式典、懇親会
- ④その他 ポスターのコンセプトやコピー等の掲載は自由(デザイン入賞作品には追加文字の制作あり)

5 提出方法

- ①インクジェットあるいはカラープリント等デジタル対応プルーフ(簡易校正紙)1枚提出
- ②応募用紙に、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、会社/学校名・所属部署/学部を明記し同封する。

応募用紙は、<http://www.jfpi.or.jp/information/140.html>からダウンロードする

6 応募費用 無料

但し、郵送料・レンタルポジ代などは自己負担になる

7 発表

平成25年7月末日

入賞者本人に直接通知及び日印産連HP、印刷関連業界紙

8 入賞・賞金

最優秀賞	賞状・賞金	20万円	1点
優秀賞(一般部門)	賞状・賞金	5万円	2点以内
(学生部門)	賞状・賞金	3万円	2点以内
佳作(一般部門)	賞状・賞金	2万円	2点以内
(学生部門)	賞状・賞金	1万円	2点以内

9 付随事項

- ①入賞作品の著作権は日印産連に帰属
- ②作品は自作未発表に限定
- ③最優秀賞作品は、2013年「9月印刷の月」PRポスターとして使用
- ④最優秀賞作品受賞者は、2013年「9月印刷の月」記念式典において表彰
- ⑤入賞作品は各種展示会、ホームページ等に掲載予定

10 提出先・問い合わせ先

一般社団法人日本印刷産業連合会
PRポスターデザイン募集係
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館
TEL.03-3553-6051/FAX.03-3553-6079
e-mail info@jfpi.or.jp

平成23年「印刷・同関連業」出荷額 5兆5,894億2,000万円

「平成24年経済センサス活動調査」速報

経済産業省および総務省統計局は、日本の全産業分野の売上金額や費用など経済活動を一斉に把握する国内初の統計調査として「平成24年経済センサス活動調査」を実施し、先般、「製造業」に関する速報が発表された。

「印刷・同関連業」（従業者4人以上の事業所）の平成23年の製造品出荷額は5兆5,894億2,000万円となり、平成22年工業統計と比べて7.5%の減少となった。

「平成24年経済センサス活動調査」の製造業速報によると、「印刷・同関連業」（従業者4人以上の事業所）の平成23年の製造品出荷額は5兆5,894億2,000万円で、平成22年工業統計調査の6兆446億4,200万円に比べて7.5%減少した。

事業所数は、1万4,099事業所で前年比1.3%増、従業者数は28万7,177人で前年比4.0%減、現金給与

総額は1兆1,639億3,100万円で前年比1.6%減、原材料使用額等は2兆8,572億8,800万円で前年比9.8%減、付加価値額は2兆5,251億2,400万円で前年比2.2%減となった。

なお、「平成24年経済センサス活動調査」の確報値は8月に公表される予定。

第26回北海道印刷関連業協議会 ゴルフ大会のご案内

第26回北海道印刷関連業協議会ゴルフ大会が開催される。

このゴルフ大会は、印刷関連業界のさらなる協調・連帯・親睦の輪を広げるため開催されており、今年で26回目となる。

開催要領は次のとおり。

日 時	平成25年7月4日（木）12：00スタート
コ ー ス	滝のカントリークラブ東・西コース
会 費	5,000円
プレイ費	8,500円（ロッカー・フィ含）
申込締切	平成25年6月14日（金）
申 込 先	各所属団体または北海道印刷関連業協議会（TEL011-562-6070）

北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL] <http://www.print.or.jp>

業 界 の う ご き

▶北海道洋紙代理店会会長に笹島久義氏

北海道洋紙代理店会は、このたび、黒田忠憲会長に代わり、新しく会長に笹島久義氏（新生紙パルプ商事株式会社札幌支店長）が就任した。

▶北海道印刷インキ同業会代表幹事に近藤雅彦氏

北海道印刷インキ同業会は、このたび、玉木閲郎代表幹事に代わり、新しく代表幹事に近藤雅彦氏（東洋インキ北海道株式会社代表取締役社長）が就任した。

▶日本紙パルプ商事(株)北海道支社が東北支社と統合し北日本支社

日本紙パルプ商事株式会社北海道支社（札幌市中央区北2条西1丁目 朝日ビル）は、このたび、東北支社と統合し、北日本支社（櫻井和彦支社長）となった。

▶(株)フカミヤ社長に沼崎晃輝氏

株式会社フカミヤ（札幌市中央区大通西8丁目）は、このたび、沼崎晋司社長が取締役会長に就任し、新しく代表取締役社長に沼崎晃輝氏が就任した。

新 組 合 員 の 紹 介

▶株式会社中央広版社

木村麻美 社長

〒064-0826 札幌市中央区北6条西28丁目3番16号 電話011-631-9339 FAX011-631-9343

平成25年4月1日加入 札幌支部・北分区

お悔やみ

金森宗一郎 氏（全文舎印刷所代表・十勝支部）は、4月9日ご逝去されました。89歳。

通夜は4月10日午後7時から、告別式は11日午前10時から、いずれも帯広市内のベルコセレモニーホールでしめやかに執り行われました。

小川 壽 氏（有限会社上磯印刷代表取締役・函館支部）は、4月14日にご逝去されました。90歳。

通夜は、4月16日午後6時から、告別式は17日午後1時から、いずれも北斗市内の石ざきホールでしめやかに執り行われました。

ガソリン共同購入で経費削減

北海道印刷工業組合「集団扱給油事業」の提携先であるフェリーロード協同組合は、全国3,200法人加入のスケールメリットを活かし、安心・安定の給油価格を実現。スタンド毎による『代行手数料』も一切不要なので、看板を見て給油可能。出張先等に現金を持たずに出掛けられるのも、給油専用カードならではのメリット。

この機会に是非共同精算の給油カードをご検討ください。



ご利用出来る
カードは3種類。
カード毎に
使用可能スタンドは
異なります。
使い勝手の良いカードを
ご選択ください。

※複数選択も可能です。

北海道印刷工業組合組合員特別価格

▶ハイオク

▶レギュラー ガソリン

▶軽 油

1ℓあたり

5円~10円
お安くなります!

※全国平均対比

※地域や時期によって異なります

10,000円の出資金と1,200円の年会費でご利用可能（フェリーロード協同組合）

[ご利用に際して必要な手続き]

- 組合加入手続き
- サービス申込手続き

[ご用意していただく書類等]

- 登記簿謄本（写し）
- 組合加入出資金（1万円）
- 代表者印鑑証明（連帯保証用）

《お申し込み・問い合わせ先》

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目

TEL.011-562-6070 / FAX.011-562-6072

この事業はフェリーロード協同組合との提携により実施しています。

北海道印刷工業組合

組合員のみが

利用できます。